

# 東日本大震災と私

作成者 I. M

## 1、地震当日 2011、3、11 の私の体験

その日、通常通りの登校だったため5時間目を受けていた。すると突然、ゴォーという地響きとともに大きな地震が来た。みんな素早く机の下に隠れ、身を守っていた。その揺れの大きさは、経験したことのない激しさだった。その地震は長く、ゆっくりとした大きな横揺れが何回も来た。揺れているうちに電気が消え、とても不安になった。

その後緊急下校となり、家に帰った。家に帰っても停電が続いているためメディアがなく、現在の情報を知ることができなかった。また、電気ストーブもつかなかったため石油ストーブを出し、明かりはろうそくで済ませた。かろうじてラジオがあったため、現在の状況を聞いて初めて津波がきていることを知った。岩手には漁業をしている知り合いがいるため安否が心配になり電話をかけたが、回線が混乱していて繋がらなかった。

翌日、これからのことを考え水や食料、電池を買いにスーパーに行った。店内は停電が続いているため暗く、たくさんの人であふれていた。買いに行こうと考えていた水や電池はとっくに売り切れ。その他、カップ麺やティッシュペーパーの棚なども、何一つなかった。また、停電でレジが動かないので店員さんは電卓で会計をしていた。その店員さんたちは前日地震があったのにもかかわらず、職場にきていることがとても有り難かった。

その日は町中が混乱しているように見えた。

## 2、地震後3ヶ月間の私の動き

この震災で感じたのは、電気のありがたさだった。停電の間、家の中は暗いし寒いし不便だった。でも、日中はカーテンを開け、なるべく日の光が部屋にはいるようにした。寒さは厚着をしてしのいだ。そう考えると、今までの無駄な電気が見えてきた。

現在は震災のときと逆で、暑さ対策をしなければならない。私の家ではエアコンを使わなくてもいいように、玄関と裏口に網戸を張って自然の風が入るようにした。

## 3、今私にできること。

4ヶ月たった今でも、地震関連のニュースが放送されている。地震関連とはいっても、地震後の生活についてである。原発からの避難や、仮設住宅問題、がれき撤去問題、ハエ問題、放射能汚染による食品問題など、まだまだある。私の住んでいる秋田は、直接的な被害がなかったため不自由なく暮らせている。今まではそれが当たり前だと思っていたけど、何事にも感謝しなければならないと感じた。直接ボランティアに行くことは難しいけど、節電に協力したり、募金をしたりすることができる。

地震があってもう4ヶ月がたったが、3月11日のことは忘れてはならない。そういうことも東日本大震災をいつまでも伝えていく上で大切なことだと思う。

Because it was a usual school day, I was in the fifth lesson. Then a big earthquake came with sounds goooo suddenly. All hid under the desk quickly and protected the body. While I shook, electricity disappeared and became very uneasy.

The school took urgent-leaving-measure. We went back to home afterwards. Because a blackout continued even if I went home, there was no media and was not able to know the current information. In addition, because the electric heater was not turned on, I took out an oil stove and was able to use the light by a candle. Because there was barely a cell radio, I knew that the tsunami came just after I heard present status. Because there was the person of acquaintance who did fishery in Iwate, I was anxious about his safety. I tried to call him, but the line was confused and was not connected.

I went to the supermarket. I wanted some foods, some water and batteries. Because a blackout continued, the shop was overflowed with many people in the darkness. Water and the battery were sold out long ago. I was very thankful to the staff of the shop. They keep their duty in spite of having the earthquake the day before.

Downtown seemed to be confused on that day.

